

全国福祉高等学校長会主催  
令和4年度 社会福祉・介護福祉検定

## 3 級 問 題

( 5 0 分 )

◎ 指示があるまで開かないでください。

### 注 意 事 項

- 1 解答用紙への受検番号等の記入  
解答用紙に、受検番号、学校名、クラス、氏名を記入してください。
- 2 試験問題  
問題数は150問です。解答時間は50分です。
- 3 解答方法
  - (1) 各問題について、正しい文章には○、誤っている文章には×を解答欄に記入してください。
  - (2) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。
- 4 その他の注意事項
  - (1) 印刷不良やページが抜けている場合は、手を挙げて試験監督の先生に申し出てください。
  - (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。



令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
1	1987年（昭和62年）に社会福祉士及び介護福祉士法が制定され、国家資格として介護福祉士が誕生した。
2	介護従事者の場合、倫理的判断を行うよりどころとして活用されているのが、厚生労働省が定めている倫理綱領である。
3	認定介護福祉士になるためには、介護福祉士として3年以上の実務経験を経た後に、認定介護福祉士養成研修を修了することが必要である。
4	ユニットケアは、10名程度の入居者を1つの生活単位とし、少人数の家庭的な雰囲気の中で介護を行うものである。
5	2008年（平成20年）以降、EPA（経済連携協定）に基づくインドネシアやフィリピンからの介護人材の受け入れが始まった。
6	2005年（平成17年）の介護保険法の改正では、「生活を支えるケア」が介護の理念として掲げられた。
7	ノーマライゼーションは、障害のある人もない人と同じように地域で暮らし、社会的活動をする社会を目指すという理念である。
8	福祉三法とは、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法のことをさす。
9	エンパワメントとは、本人が本来内発的に持っている、生きていくための力に本人自身が気づき、発揮していくことである。
10	法定後見制度には、本人の判断能力の程度に応じて、補助・保佐・後見の3区分が設定されている。
11	IADLとは、食事、着替え、排せつ等の毎日の生活をするために必要な基本動作のことである。
12	食事介助の基本は、食物の通りをよくするために、最初に水分を飲み、口の中を湿らせるとよい。
13	女性は、排せつ時に尿が後ろに回ることを配慮して、後ろ部分に尿取りパッドや紙おむつを重ねて厚くするとよい。
14	右片麻痺の方の着脱介助の基本として、上着を着用する時は、左腕から通してもらいとよい。
15	高温浴（42℃以上）では、心拍数が上昇し、副交感神経が刺激されて緊張が高まる。
16	肺結核や麻疹などは、空気感染によって起こる。
17	疥癬はダニの一種であるマダニが皮膚に寄生して起こる。
18	ノロウイルス性食中毒は、感染後3～5日の潜伏期間をおいて、症状が現れる。
19	介護におけるリスクマネジメントとは、起こりうるリスクに対し、介護従事者自身が努力してリスクを起こさないようにすることである。
20	身体拘束は原則禁止であるが、切迫性・非代替性・一時性の3つの要件を満たした「緊急やむを得ない場合」のみ認められている。

令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
21	尖足とは、アキレス腱が縮み、足の甲側が伸びて、足先が下を向いたままもとに戻らなくなった状態をいう。
22	廃用症候群（生活不活発病）には、高血圧、糖尿病、心臓病、脳卒中などがあげられる。
23	高齢になると、聴覚では高音部の聴力の低下が目立ち、日常会話が聞き取りにくくなる。
24	アルツハイマー型認知症では、段階的に状態が悪化する。
25	インフォーマルサービスは、介護保険サービスや行政サービスなどの公的サービスが中心である。
26	介護保険制度の保険者は、都道府県である。
27	介護保険サービスの利用者負担は原則として1割である。
28	介護保険制度は、1997年（平成9年）4月に施行された。
29	介護保険制度の申請場所は、福祉事務所である。
30	介護保険制度の第1号被保険者とは、40歳以上65歳未満の医療保険加入者である。
31	介護保険制度における第1号被保険者のうち、年金額が一定以上の者は、年金からの天引きによって保険料が徴収される。
32	2000年（平成12年）の社会福祉法の成立によって、社会福祉施設への入所などについて、措置方式から契約方式への制度改革が行われた。
33	地域包括支援センターには、保健師、介護福祉士、主任ケアマネジャーが配置されている。
34	訪問介護には、生活援助と身体介護がある。
35	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の定員は、1つの共同生活住居ごとに5人以上9人以下と定められている。
36	小規模多機型居宅介護は、通所利用が基本であるが、利用者の心身の状況や置かれている環境などに応じて宿泊ができる。
37	介護老人福祉施設は、看護・医学的管理下のもと、リハビリテーション・看護・介護と日常生活サービスを提供する施設である。
38	日常的な医学管理や看取り・ターミナルケア等の医療機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた新たな介護保険施設として、2018年（平成30年）4月から介護療養型医療施設が創設された。
39	地域密着型サービスは、2006年（平成18年）4月から実施され、都道府県が主体的にサービスを提供するしくみを導入している。
40	養護老人ホームは、65歳以上の人で、「環境上の理由」および「経済的理由」で居宅での生活が困難な高齢者が入所する施設である。

令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
41	軽費老人ホームのA型は自炊が基本、B型は食事提供などのサービス付きである
42	養護老人ホームへの入所は市区町村の措置の決定に基づいて行われる。
43	介護従事者は、原則として医療行為が禁止されているが、喀痰吸引など、条件によっては一部認められるようになった。
44	介護支援専門員は、身体に障害があり、日常生活に支障がある人に対してその機能の維持や回復のために、訓練やその他の援助を提供する。
45	チームケアにかかわる人々に、ボランティアは含まれない。
46	民生委員は、地域住民の生活ニーズ把握、生活指導、福祉事務所との連絡・協力などを行う。
47	ターミナルは、重病などのため、死亡にいたる人生末期の段階やその状態を意味し、対応する医療・介護などが重視される。
48	認知症高齢者を支援するネットワーク活動の1つとして、認知症サポーター養成講座（オレンジリング）など市民参加型の取り組みがある。
49	「団塊の世代」の人々がすべて後期高齢者となる2025年（令和7年）には、高齢化率は25%台に達すると予測されている。
50	有料老人ホームの生活にかかる費用は、利用者が半額負担する。
51	共感とは、利用者が思っていることや感じていることについて、あくまでも援助者の立場から理解を深めようとする姿勢である。
52	非言語コミュニケーションの具体例として、身振り手振り、表情、視線、手話などがあげられる。
53	傾聴とは、話を聞いてもうなずくことはせず、じっと相手の顔を見ていることである。
54	集団援助技術（グループワーク）の作業期では、援助者が主体となってグループ活動を牽引していく。
55	ICTの発達により、障害者がコンピュータを使ってインターネットによるコミュニケーションを行えるようになった。
56	バイステックによるケースワークの7原則の1つに「情報収集とアセスメント」がある。
57	地域援助技術（コミュニティワーク）の展開では、はじめに地域住民に共通する福祉課題を明らかにする。
58	ケア会議では、単独で支援策を考えるよりも、多職種で多面的に問題を把握したり評価することができる。
59	援助を行う専門職は、利用者にサービス利用に関する情報を伝える際には専門用語を使って説明しなければならない。
60	認知症高齢者の言動の意味がわからなくても、その言動に込められた思いや背景にある意味を、さまざまな見方から理解しようとする姿勢が大切である。

令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
61	フロイト (Freud, S.) は、幼年期までの間にいくつかの発達段階を経て、パーソナリティの基礎がつけられ、それぞれの時期にどれだけ欲求が満たされるかで性格が異なってくると考えた。
62	ピアジェ (Piaget, J.) は、認知機能、特に論理的思考の発達に焦点を当て、発達段階を区分した。
63	発達段階の課題を「発達課題」と呼んだのは、ブロンフェンブレンナー (Bronfenbrenner, U.) である。
64	ストレーラー (Strehler, B. L.) は、老化現象に共通する原則として、普遍性、固有性 (内在性)、進行性、有害性の4つをあげた。
65	老化とは、成長がピークに達した後の退行期の変化をさす。
66	パルモア (Palmore, E. B.) は、ライフサイクルを乳児期から老年期までの8段階に分けた。
67	エリクソン (Erikson, E.) は、老年期における葛藤として、自我の統合とそれに対をなす絶望があるとしている。
68	バトラー (Butler, R.) は、高齢者に対する偏見や差別を意味する「エイジズム」という新語をつくった。
69	老化に伴って免疫機能が低下するため、細菌やウイルスなどの病原体に対する抵抗力が弱くなる。
70	高齢者では、病気の症状や経過が定型的である。
71	認知症とは、いったん獲得した知的機能が、先天的な器質的要因により低下した状態をいう。
72	見当識とは、現在の自分の状況 (自分はだれか、今どこにいるか、今はいつか) を正しく認識していることである。
73	認知症による中核症状には、徘徊、妄想、不安、興奮、攻撃などがある。
74	アルツハイマー型認知症の診断は、もの忘れに加え、幻視が特徴的であり、SPECTにより後頭葉の血流低下が見られる。
75	認知症の原因となる病気は、約50%以上がアルツハイマー型である。そのほか、脳血管性が約30%、レビー小体型が約10%、前頭側頭型が約5%となっている。
76	アルツハイマー型認知症の検査では、頭部MRIで脳萎縮が、脳血流検査で後部帯状回の血流低下がみられる。
77	脳血管性認知症では、アルツハイマー型認知症に比べて言語障害が多く、感情失禁、うつ症状、不安など感情にかかわる症状が少ないことが特徴とされる。
78	脳血管性認知症の検査には、脳梗塞部位の血流低下を発見できるMRIや頭部CTが有用である。
79	レビー小体型認知症は、歩行障害やパーキンソン症状を伴うことがある。
80	レビー小体型認知症の症状は、よい時と悪い時の差はなく、認知機能も一定である。

令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
81	前頭側頭型認知症では、前頭葉や側頭葉の萎縮がみられる。
82	前頭側頭型認知症は、判断力低下、反社会的行為がみられ、ワンパターンの行動（常同行動）をとりやすい。
83	40歳未満で発症する認知症を若年性認知症と呼んでいる。
84	アルツハイマー型認知症の中核症状に対する治療薬は開発されていない。
85	認知症介護に有効とされるユニットケア、グループホーム、小規模多機能型居宅介護は、小規模の施設で、なじみの場所・人間関係づくりをめざすものである。
86	2001年（平成13年）に、世界保健機関は障害を理解する世界共通のモデルとして国際生活機能分類（ICF）を承認した。
87	ノーマライゼーションは、スウェーデンのニリエ（Nirje, B.）が提唱した考え方である。
88	障害者基本法の基本理念には、障害者への差別禁止が規定されている。
89	障害者自立支援法は、2021年（令和3年）に障害者総合支援法に改正された。
90	エンパワメント・アプローチとは、従来の病気や障害に着目した援助から、健康的な部分や可能性に着目し、主体的に解決策を見出していく支援方法である。
91	身体障害者手帳は市町村長が交付する。
92	身体障害に内部障害は含まれない。
93	言語障害には、構音障害、吃音、失語症などがある。
94	脳性麻痺には、運動のコントロールができず、不随意運動が生じる痙直型と、筋肉の緊張で動きにくく、関節が変形するアテトーゼ型がある。
95	精神障害の程度は、1～5級に区分される。
96	知的障害は、おおむね18歳までにあらわれる。
97	発達障害は、発達期に生じる障害全般をいう場合に用いられる。
98	注意欠陥多動性障害の特徴に、読み書きが困難なことがあげられる。
99	着衣失行は、高次脳機能障害の失行症の1つである。
100	2013年（平成25年）から、障害者総合支援法の対象として難病患者も必要なサービスを受けられるようになった。

令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
101	経験を積み重ねることによって、知識や教養が蓄積されてつくられる知能を流動性知能という。
102	インクのみみでできた左右対称の図版を1枚ずつ呈示し、何に見えるかを自由に話してもらい、それらの反応を量的・質的に分析し、力動的に解釈することにより人物像を診断することをロールシャッハテストという。
103	ライカード (Reichard, S.) の高齢者の適応に関する5つの類型のうち、自己の老いを受容できず、他人を非難するタイプを装甲型という。
104	自己防衛機制のうち、自分のとった態度や行動を正当化しようとして、もっともらしい理屈を付けることを、置き換えという。
105	脳のはたらきのうち、呼吸や嚥下機能などにかかわるのは延髄である。
106	血糖が上昇すると膵臓からグルカゴンが分泌され血糖を下げる。
107	上腕二頭筋が収縮すると肘は伸び、上腕三頭筋が収縮すると肘は屈曲する。
108	肺動脈には酸素の多い動脈血が流れる。
109	内肛門括約筋は不随意筋である。
110	気管支は左側の内腔が太いため、気管に入った異物は左側の気管に入りやすい。
111	尿道の長さは男性が約3～4cm、女性が約15～20cmである。
112	唾液は一日に約1L分泌される。
113	体内で脂肪や糖質などの栄養素が燃焼することにより発生する水分を洗浄水という。
114	弛緩性便秘は女性よりも男性に多くみられる。
115	排泄物や吐物で汚染された床は手袋を着用の上、消毒用エタノールで清拭する。
116	死後硬直は死後20～30分で始まり、死斑は死後2～3時間後に現れ始める。
117	発達段階を身長と体重の成長速度に着目し、「伸長期」と「充実期」が交互に出現すると区分したのはピアジェ (Piaget, J.) である。
118	エイジズムはレイシズム、セクシズムに続く第3の重大な差別であると考えられる。
119	老年期を迎えても自分を失わず、自分が望む形で生活を送る、老年期にうまく適応した生き方をプロダクティブエイジングという。
120	アルツハイマー型認知症は手術で改善されることがある。



令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
121	弱視によって、見える範囲が狭いことを中心暗点という。
122	脊髄損傷により排泄障害が起こりやすい。
123	脳血管障害の脳梗塞には、脳の血管に血液のかたまりができて詰まる脳血栓と、体内で形成された血液のかたまり等により脳の血管が詰まる脳塞栓がある。
124	脳のウェルニッケ野の損傷により言葉の理解はできるが表出が困難な失語症を、運動性失語という。
125	障害の受容過程は、ショック期→混乱期→否認期→努力期→受容期とされている。
126	ユニバーサルデザインは、アメリカのロナルド・メイス（Mace, R.）が提唱した考え方である。
127	ユニットケアとは、居宅に近い居住環境のもと、居宅での生活に近い日常の生活のなかで介護を行うことである。
128	食中毒は12月～2月の乾燥した時期には発生しない。
129	弁当や生菓子などのように、あまり日持ちのしない食品に記載される期限を賞味期限という。
130	わさびやニンニクなどの辛みを利用することで、食事を減塩することができる。
131	ドライクリーニングとは水と洗剤で汚れを落とす洗濯方法のことである。
132	循環型社会形成推進基本法は、廃棄物対策とリサイクル対策を推進する法律である。
133	シーツの素材は、吸湿性に優れているポリエステルのものがよい。
134	テレビやカタログの通信販売では、購入者は自分の自由な意思で商品を購入したと考えられ、クーリング・オフ制度は適用されない。
135	身じたくは、人に不快感を与えないために大切な行為であり、自信を持って他者と積極的にかかわるための原動力としても重要な意味を持つ。
136	高齢者の爪はもろく割れやすいため、爪切りを介助するときは一度に深く切る。
137	総入れ歯は面が広い上あごから装着し、下あごからはずすのが一般的な方法である。
138	口腔ケアの目的の1つに、誤嚥性肺炎をはじめとする感染症を予防することがあげられる。
139	移動動作は、社会生活行為に直結しているため、生きがいや生活のうるおい、楽しみを実現させるためにも欠くことができない。
140	ボディメカニクスとは、人間のからだの骨格系、筋肉系、内蔵器官などの形態的特性や筋力的特性をとらえ、力学的な相互関係によって起こる動作のことである。

令和4年度 社会福祉・介護福祉検定（3級）

番号	問 題
141	仰臥位から側臥位への体位変換では、両膝をできるだけ高く立て、膝から先に回転させ、骨盤が回旋したら肩を動かす。
142	杖歩行の三動作歩行では、杖を斜め前方につき、健側の足を杖のところまで移動し、患側の足をそろえるか、少し前に出す。
143	食事の介護では、食べる動作や機能面に注意が向いてしまうが、本人の食べる意欲、食べようとする気持ちを引き出すことが何よりも大切である。
144	水分は誤嚥しにくいいため、お茶や水はとろみ剤で粘度を高める必要はない。
145	つまんだ皮膚の戻りが悪い場合は、脱水状態の可能性がある。
146	入浴の介助の注意事項として、「入浴の可否と注意点を医療関係者に確認する」ことがあげられる。
147	褥瘡がある場合は、感染症のおそれがあるため入浴できない。
148	重い物を持ち上げたり、咳やくしゃみなどによる腹圧の上昇で尿が少しもれることを溢流性尿失禁という。
149	成人では、通常1日の尿量は約3,000mLである。
150	レム睡眠は新生児では総睡眠時間の約50%を占めるが、その後減少し、高齢者では15%程度となる。